ぴーちく ぱーちく

第89号

2018.9.25 発行

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15
ぷりんせす明野１Ｆ
編集･発行 ＮＰＯ法人自立支援センターたかつき
TEL:072-672-1294 FAX:072-668-3210
MAIL:wffcj830@yahoo.co.jp
URL: http://ciltakatuki.web.fc2.com/

重度訪問介護研修が始まりました

9/1（土）から、毎年恒例夏の重度訪問介護研修がスタートしました。今回の受講生数は１０名。すこしこじんまりとした規模の研修となりました。

初日は、みっちり夕方まで講義。横山先生と田淵先生に今回も講義をしていただきました。午前中激しく雨がふっていたので、逆に日に恵まれたといえるかも。二日目は１５時ごろまで山本先生の医療的ケアの講義。その後介護技術の演習として、斉藤さん、田岡さん、椿本さんにも協力をいただきながら、移乗の練習を行いました。

そして座学三日目。午前は南光先生。先生を囲む車座になって対話形式の授業を行いました。そして午後は車いすの練習で城跡公園へ。気温の高さもつらかったのですが、何よりもしんどかったのは蚊の多さ。

9/4からは、自立フォーラムでの実習がスタートしています。一緒に買い物に行ったり、ご自宅に行ったりもしつつ、フォーラムでの一日を体験していただいています。

研修最終日は、9/22（土）。班に分かれて梅田に行きます。例年、なにかしらハプニングが起こっていますが、今年はどうなることやら・・・。来月の通信でご報告します。（いづつ）

1型糖尿病年金訴訟　傍聴に行きました　その2

9月12日、1型糖尿病患者年金訴訟裁判の傍聴に参加してきました。今回2回目の参加でしたが、行けば行くほど疑問が深まるばかりで、ハッキリせいや！と言いたくなります。

１つは何故突然支給停止にしたのかという理由を国は答えない。過去の障害の状態と現時点の障害の状態を比較していないから、いうなれば過去は過去だからみたいなニュアンスではぐらかす。理由があるならば、ちゃんと明確に提示して答えてもらわないと、そんないい加減で曖昧なことでは、誰も納得しないと思います。

あと平成28年以前の方々は、何故支給され続けているのか。本来は支給停止されるということ自体がおかしいのですが、停止するなら全員停止するというのならわかるけど、停止される人とされない人がいる　という不公平なことをする理由を、ちゃんと誠心誠意を持って国には答えていただきたいと思いました。

次回は11月21日ですが、国はちゃんと答えてくれるんでしょうか？
答えが出たとしても、支給停止自体絶対ダメなことなので、阻止するためにも、今後も傍聴という形ではありますが、共に闘っていきたいと思います。（みか）

憲法ミュージカル「憲法のレシピ」を観てきました

「憲法のレシピ」は、昨年同様に感動しました。昨年の「無音のレクイエム」の続編だとパンフに書いていました。終戦すぐの天王寺が舞台で闇市や、娼婦や傷痍軍人さんの生々しい演技に胸が痛くなりました。招集される一夜限りの親の決めた若い夫婦が中心にして、その夫が帰って来たら傷痍軍人で足も無い、顔も火傷でと「僕は妻に負担になるだけや」と言い一時は遠ざけたけど、妻が「どんな姿でも帰ってきてくれたし、ずっと離れない」と言って抱きつく所にぐっときました。

憲法そのものは、マッカーサー元帥が骨子を、日本に10年間住んだ経験のある女性に作らせた事を初めて知って勉強になりました。「戦争をしない」「武器を持たない」「この国に生まれたものは何人たりともその生活を全うする権利がある」「男女、いかなるものも差別を受け或いはしてはならない」「男も女も平等である」と大事な事が示されています。憲法はアメリカが作ったからとか、日本の人間が作った憲法ではないからと言う人がいますが、でも、誰が作ろうとどの国が作ろうと正しい憲法ならいいでは無いですか。弁護士さんをはじめとするアマチュアの役者さんが体当たりの演技ですごく感動しました。来年も行きたいです。私達はこの憲法を護らないといけないと改めて思いました。二度と戦争はしてはいけないし、させてはならないと思いました。（まさこ）

お久しぶりです。あら、ふぉーな人生コーナー椿本の3回目です。

前回は、私の発育がおかしいと脳のCT検査をし、脳性まひと診断されたところまでお届けした。かくして私の障害者人生の幕開けを果たしたのだ。

月日は経ち、私が2歳のころ、母は妊娠したそうな。母は喜んで病院に駆け込んだのかと思いきや、「お腹の子をおろしてほしい…」と母は懇願した。母の理由は「自分の気持ちが10あるとしたら、この子(私)に10注ぎたい。けど、下に子ができたらそういうわけにもいかない」と。当時20代後半の母、その母がこんなことを言ってくれたと思うと今も頭が上がらなく、凄いなと思う。(今まで親子げんかも何度となくしたけどね)

それを聞いた医師は「今度は元気な子(健常者)が産まれるやろうし、いずれはあんたを助けてくれるやろうから産んどき」と諭され、母は産む決意をした。しかし、普通の2歳児は自分で歩いたり、ある程度、自立している頃だが、私にはそれがなかったため、抱えたりの介助がたたり、流産した。流産した時には性別も判別できたらしく、女の子だったそうだ。私が幼少期、母はタンスの片隅にお花と女の子向けのかわいらしいコップに毎朝一番のお水を供えていたことを覚えている。生まれていたら、この連載のタイトルではないが、アラフォーの妹かー。

話はガラリと変り、私が物心ついたころには母と二人暮らしだった。そう、父は家に存在しなかったのだ。恥ずかしながら、私の父は根っからの女性好きで、家を出たり入ったりを経て、私が3歳のころ忽然と姿を消した。母曰く、世の女性はみんな自分の女だと思っている人だったそうな。なので、私は小学校低学年くらいまでは五條(私の田舎の奈良県五條市)の家庭はどこもお父さんはいないと思っていた。言い換えると、それだけ母は私を大切にしてくれたということかもしれない。

またまた時は過ぎ、私が5歳のころ、母は市役所で保育所見学のチラシを目に留めたそうな。それを見て家から近い保育所見学に行くことになった。その初日、午前中園児との交流を終え帰ろうとしたら、一人の先生が「今日休みの子がいて、給食余ってるからよかったら食べて行って」と言ってくれた。覚えていないが、私はバギー(車いすに乗る前の幼児期に乗るベビーカー的なもの)から落ちそうなくらい、体を動かして喜んだらしい。ただ、その日のメニューがちらし寿司だったことは今も覚えている。

その喜びを見た母は、園長先生にこれからも給食も食べさせてほしいとお願いした。しかし、返事は「あれは、勝手に保母が言ったことであり、正式な園児でないため何かあると責任取れないから無理です」と返ってきた。それなら保育所に入所させてという母の思いから、私の保育所入所闘争が始まった。

さてさて、今回はこれにて…次回の椿本のお話は、保育所・小学校入学などなどお届けします。

(椿本編は)慌てない、慌てない一休み、一休み。

(ひろき)

自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

・**重度訪問介護従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。

・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。

・**自立生活プログラム(ＩＬＰ)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。

・**自立体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。

・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。

・**障がい者　自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか?

　その他、お花見、ビアガーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！

【現任研修/学習会】

バリアフリー
今むかし
そして未来

次回は「バリアフリー今むかし、そして未来」です。その他知りたいことを話し合いましょう！

日時　2018年10月27日（土）10：00～12：00

場所　当事業所事務所にて

申込は、自立支援センターたかつき（072-672-1294）まで

※当日参加も可。ヘルパーさんへは、2時間分の研修参加費、交通費が支給されます。ヘルパー、利用者以外の方も参加大歓迎！

新しい書籍の紹介

唐沢かおり『なぜ心を読みすぎるのか
みきわめと対人関係の心理学』
東京大学出版会 2017

※事務所の本棚においてますよ～

10月のフォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽にあそびに来て下さい♪

クラフト体験は10月4日　はじめての方無料（2回目以降500円）

◎お問い合わせは自立フォーラムまで

ＴＥＬ：０７２-６７２－８５３２